

スーパーボールすくい

豊かな感性と表現

自立心

こすもすぐみ「お店を作ろう」その1

屋台の役割分担をした子どもたちは、それぞれお祭りに向けて準備を始めました。友達と進める中で、様々な葛藤や困難に向き合い、考えながら進めようとしていました。

“お客さんが持つときに壊れないものを”と、水に濡れても固くて丈夫なすくい杓を作ろうと試行錯誤していました。実際に水に濡らして試したり、素材の種類によって水への耐久性を比べようとしていました。又、年下のお客さんのことを考え、すくいやすい杓を作ろうとする姿が見られました。

すくうものはテープの芯を使おう

持つところは固い方が(丈夫で)いいかな…?

ビニールテープなら濡れても大丈夫

カップの方がぼうさんはすくいやすい

ペットボトルのふたは、浮いたで!

スーパーボールは何で作ろう?

(画用紙は)濡れたら、持てなくなるな

思考力の芽生え

お客さん(年齢ごとに)が使いやすいすくい杓にしようと、素材の違いを活かしなら考えていました。

道徳性
規範意識の芽生え

←完成したすくい杓

はながみを丸めてみたけど…すぐ破れちゃった…

持ち手は画用紙を細く切って…

屋台づくり

紙筒にテープを貼る

自立心

言葉による伝え合い

紙筒を支える

沢山のりを
つきたいな~

わかった!

屋台が丈夫に
立った!!

紐も巻いて
みよう

けど
なかなか紙筒が
立たない…

でも

(うまく立つように紙筒の底に)箱をくっつけたらいける?

のりで画用紙を貼ろう

(紙筒を)つけるから、支えて!

上の方
持ってる

お客さん
来るかな~

先生たちも
来てね

祭りの絵本を見て、“屋台を作りたい”と話していた子どもたち。紙筒2本で看板を立てようとしていますが、なかなか立ちません。テープ以外でも、箱や紐など様々な素材で物を固定できることに気づき、諦めずに試すことで、できた充実感や達成感を感じていました。